

1



2



3



1. 『学校に行きたくない君へ 続 大先輩たちが語る生き方のヒント。』

全国不登校新聞社 / 編 ポプラ社

日本で初めての不登校の情報・交流誌としてできた「不登校新聞」に掲載された、不登校の当事者たちが著名人に体当たり取材をしたインタビュー集です。中川翔子、ヨシタケシンスケ、りゅうちえる、春名風花、谷川俊太郎、庵野秀明、糸井重里ほか全17名の人生の先輩たちが語る「生き方のヒント」。悩みを抱えたあなたに、人生のアドバイスになるかもしれません。『学校に行きたくない君へ』の続編です。そちらもあわせてどうぞ。

2. 『モヤモヤしている女の子のための読書案内』 堀越 英美 / 著 河出書房新社

友だちや家族とうまくいかないとき、他人と比べて落ち込んでしまうとき...。何ともいえない気持ちでどうしようもなくモヤモヤするときに、あなたはどのようにそれを解消しますか？この本では、さまざまな状況のモヤモヤに対して「こんなときにはこれ」と、おすすめの本を紹介しています。いつもは読まないようなジャンルの本に出会い、色々な考え方や価値観に触れることで、あなたが感じているモヤモヤも、ほんの少し小さくなるかも...？女の子だけでなく、男の子もぜひ読んでみてくださいね。

3. 『with you ウイズ・ユー』 濱野 京子 / 著 くもん出版

高校受験を控え、家族との関係に悩みながら日々を送る悠人が夜の公園で出会ったのは、ひとつ年下の少女・朱音。彼女は、病気の母親を支えながら家事をする「ヤングケアラー」でした。色々なことを我慢して母親や妹の世話をする朱音を見ているうちに、悠人は惹かれ、彼女の力になりたいと思うようになります。思い切って告白しますが、それは同情ではないのかと言われてしまい...。中学生の2人がひた向きに思い合う姿が描かれており、同時に、「ヤングケアラー」（家族の介護を行う18歳未満の子どものこと）という深刻なテーマも扱っています。問題を抱えながらも、未来のことについて話す2人の姿が眩しく、前向きな気持ちになれるお話です。

◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

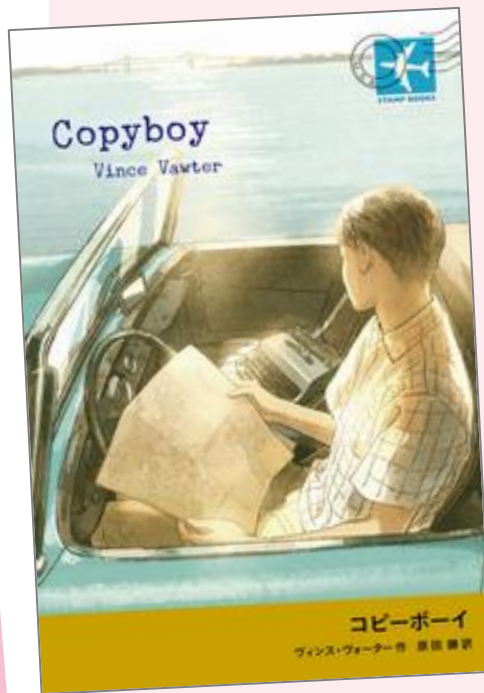
長岡市立地域図書館（7館）

- | | | | |
|----------|------------|-----------------|------------|
| □ 互尊文庫 | TEL35-7981 | □ 中之島地域図書館 | TEL61-2165 |
| □ 西地域図書館 | TEL27-4900 | □ 寺泊地域図書館 | TEL75-5159 |
| □ 南地域図書館 | TEL30-3501 | □ 栃尾地域図書館 | TEL53-3005 |
| □ 北地域図書館 | TEL22-7100 | ◎お問い合わせは北地域図書館へ | |

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail: lib.kita@nscs-net.ne.jp

図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

編集・発行 / 指定管理者 株式会社図書館流通センター (TRC)



『コピーボーイ』
ヴィンス・ヴォーター / 作
原田 勝 / 訳
岩波書店

vol.78
2021
SPRING

新聞社のコピーボーイ(雑用係)のアルバイトをしているヴィクターは、ある日、年上の大切な友人スピロさんの訃報を見つけてます。かつて、スピロさんから、満ち足りた人生を送るための四つの言葉をもらったヴィクターは、彼との約束を果たすため、ひとり、車でミシシッピ川の河口を目指します。スピロさんとの会話を思い出しながら旅の途中で出会った人々とともに人生を探求し、四つの言葉の意味を理解していくヴィクター。1960年代のアメリカの風景や人々の様子も興味深く描かれています。

ありがとう

YOUNG ADULT NEWS

今号のテーマは「ありがとう」。

「ありがとう」は、人と人との繋がりの中で、とても大切な言葉。あなたはどんな時に、この言葉を使いますか？また、「ありがとう」と言われた時、どんな気持ちになるでしょう。

今号では、「ありがとう」を伝えることの大切さを感じられる本を紹介いたします。

ヤングアダルトとは、12～18歳くらいのみなさんのことです。

テーマ「ありがとう」



『私たちに負けない想い。新・吹部ノート 全日本吹奏楽コンクールにかけた青春！』 オザワ部長／著 ベストセラーズ

全日本吹奏楽コンクールは「吹奏楽の甲子園」とも呼ばれる「熱い」世界。本書では7校の吹奏楽部員を紹介しています。高校生たちが部活動で綴ったノートには、「自分達らしい音楽を届ける」「全力を出して突き進め」等の言葉があふれています。誰に見せるでもないノートの最後には、仲間たちに対して「ありがとう」と締めくくられており、感謝の気持ちがとても伝わってきます。各校の「その後」も載っているので、吹奏楽に興味をお持ちの方、ぜひ読んでみてください。



『夏に泳ぐ緑のクジラ』 村上 しいこ／作 小学館

両親が別れ、母方の祖母が住む島に預けられることになった京(みやこ)。祖母はこの状況をあまり快く思っていないようで、この先どうなるかわかりません。そんなとき、京は、謎の存在「つちんこ」と出会います。子どもたちは大人に振り回され傷つけられます。「つちんこ」はそんな子どもたちに、時に厳しく、でもそっと寄り添ってくれます。「ありがとう」って簡単に言えるけど、そんなに単純じゃない。でも、言えないのも寂しいと感じます。



『青春ノ帝国』 石川 宏千花／著 あすなろ書房

ある夏の夕暮れ、職員室にかかってきた1本の電話。23年ぶりに耳にした懐かしいあの人の声が私を14歳の夏の日へ連れ去った。「青春」という名の帝国で出会い、共に戦ったかけがえのない仲間たち。しんどい時代だったけれど、多くのものを得ることができたあの日々感謝し、新しい道を歩き始める彼らの物語が胸を打ちます。

NO IMAGE

『ハジメテヒラク』 こまつ あやこ／著 講談社

中学1年生のあみは、心としたことがきっかけで、生け花部に入部します。部活動にも慣れ始めた頃、長年お世話になっているお花屋さんが閉店することを知らされます。感謝の気持ちを込めて、文化祭で入賞を狙うことになり…。無謀とも思える挑戦が始まります。恋や夢に向かって奮闘する部員たちの、心温まるお話です。



『放課後の文章教室』 小手鞠 るい／著 偕成社

本書では、中高生から寄せられた「文書」や「書くこと」に関する質問に、小説家である著者が丁寧に答えています。その中で、メールを書くことが苦手な若者に向けて、感謝と思いやりを込めて書くことが大切と語っています。手紙やメールでもお互いの心をあたたくするには、「ありがとう」という感謝の言葉が大切だと気づかされる一冊です。